



shalom (シャローム) は、ヘブライ語で「平和」を意味する言葉。現在では「こんにちは」「さよなら」の挨拶として使われています。

知恵ある人は知恵を隠す。無知な者の口には破滅が近い。

旧約聖書 箴言10:14

2020年度からスタート予定だった新大学入試制度が迷走しています。欧米各国に近い入試制度を念頭に、各大学の2次試験(個別試験)では、面接と論文により可否を決めようという提案でした。「これまでの日本教育の悪弊なくそう」を理想に掲げ、大学入試センター試験の英語には、これまでの「『読む・書く・聞く』に『話す』を加え、そのために民間試験を取り入れる」、さらに、知識偏重型から思考力重視型にするため「国語と数学には記述試験を加える」という改革案でした。この案は当初から様々な問題点が指摘されていましたが、一部の識者の「読み書きができて、話せない日本の学生と今の教育に問題がある」という指摘やつぶやきを受け止めたからでしょうか。今では名称だけになった印象がある「高大連携プログラム」と連動させて強引にでも進めようとしたこと、さらに、1回の受験料が約2万円と高額な英語民間試験もあるなど、大学受験の際に、家庭の金銭的負担がこれまでに増えることも延期や失敗の原因の1つです。もっとも、英語民間試験延期については、〇〇大臣のあの発言が最終決定打だったかも知れませんが、私は3年前に「絶対実施不可能」と断言していました。

でも、現在行われている入試制度が思考力を問わないかということ、それは大間違いです。マークシート方式の大学入試センター試験ですが、考えさせる問題の工夫がいくつもあります。また、英語のリスニングが定着した今、話すことまで入試に加える必要も試験時間もありません(日数を増やせば別ですが)。さらに、国際化社会を担う若者に「日本の古典や文学の要素は不要」とか「英文法より英会話が大事」というのも変な感じがします。教育の機会均等や入試の公平・公正のために、英語民間試験と同様に現在問題になっている国数の記述試験についても、採点者の観点から、思い切って「廃止」が最良の策だと私は考えています。

◆ハンドベル・クワイアをアップルウェーブが取材 12月10日(火)

アップルウェーブの加藤由梨リポーターが、聖愛中学音楽部の部活動紹介(ハンドベル・クワイアの取材)のため来校します。その様子は12月10日(火)17:30「スクール★ナビ」で生放送されます。是非お聞き下さい。

(※)個人情報の観点から、名前などの紹介を控えてほしい方は下田先生までお知らせ下さい。

◆楽天イーグルス中学硬式野球大会SAVAST-TAMT2019(聖愛シニア)11月16日-17日

東北地区3団体の中学硬式野球リーグのチャンピオンを決める上記大会で、4回目の出場にしてチーム初となる準優勝の成績を収めました。全国選抜大会に向けてしっかりと準備し、試合に臨んでください。

◆海外語学研修

今年からプログラムを一新。スカベンチャーハントや現地小中校との授業交流など、充実した内容になりました。その画像をご覧ください。



出発式にて。



成田空港到着。カナダが君達を待っています！



フェリーでヴィクトリアへ！

海が似合ってるよ！



ホストファミリーがお出迎え。これから2日間お世話になります。



ホームステイが終わり2日ぶりに全員集合！



語学研修初企画「スカベンチャーハント」のため、街を事前散策。
13のクイズに答えて目的地へGO!



現地の小中学生との交流です。カナダ先住民の歴史やメイプルシロップの味の違いを勉強したり、レクリエーションをしたり。純正のカエデの木から抽出したシロップは甘い！！でも、値段が高い！！



お昼はピザ。サイズはMですが、どう見ても日本のLサイズより大きい！！美味しそうです。



級友と過ごした異国の経験を大切に。そしてどんな国の人も友達になれる優しさを失わないでくださいね。それが私の願いです。

